

## 7 平成 21 年度 事業のまとめ

### (1) 利用者にとって、より便利で快適な図書館を目指します

#### ア 身近な公共施設での図書の貸出・返却取次の試行(図書取次サービス試行事業)

区役所連携事業として平成 17 年 12 月に開始した図書の貸出・返却取次サービスを、引き続き試行実施しています。平成 21 年 6 月からは新たに金沢区役所と連携し、京急線・金沢文庫駅に返却ポストを設置、図書返却サービスを開始しました。

#### 【平成 21 年度利用実績】

区	場 所	実施内容	延利用数		
			利用者(人)	貸出(冊)	返却(冊)
旭	二俣川駅(相鉄線) 行政サービスコーナー	貸出・返却	36,004	57,255	86,966
戸塚	東戸塚駅(JR線) 行政サービスコーナー	貸出・返却	68,855	111,479	136,882
緑	長津田駅(JR線・東急線)	返却ポスト			23,675
金沢	金沢文庫駅(京急線・6月～)	返却ポスト			45,565
青葉	美しが丘西地区センター	貸出・返却	7,415	12,068	14,171
	大場みずが丘地区センター	貸出・返却	4,343	7,236	7,450
	奈良地区センター	貸出・返却	8,632	14,526	18,627
	藤が丘地区センター	貸出・返却	11,806	20,173	17,835
	若草台地区センター	貸出・返却	9,141	15,072	13,743
	田奈ステーション (区民交流センター内)	貸出・返却	7,578	12,883	11,342
	市が尾駅(東急線) 青葉台駅(東急線) たまプラーザ駅(東急線)	返却ポスト			177,725
図書取次サービス事業総計			153,774	250,692	553,981

※緑区・長津田駅の図書返却ボックス運営事業は、緑区の方針により平成 22 年 3 月 31 日をもって停止しました。

#### イ 利用者の要望の把握(広聴事業)

平成 21 年度に「市民からの提案」などに寄せられた図書館に関する意見・提案は 434 件でした。主な内容は、件数の多い順に、施設に関すること(67 件)、図書の予約に関すること(52 件)、地区センターとの連携・返却ポスト増設などサービスポイントの拡大(48 件)、職員に関すること(41 件)となっています。

項 目	内 容	件数	主な意見・要望等
図書館運営に関すること	施設に関すること	67	駐車場の整備・管理、閲覧席の増設
	サービスポイント	48	地区センター等での図書取次の拡大
	ホームページ	30	ホームページの改善
	図書館建設・充実	29	図書館の新設整備
	その他	59	開館日・開館時間の拡大
図書館サービスに関すること	図書の予約	52	予約冊数制限の緩和
	貸出・返却	27	借りた図書の履歴表示
蔵書に関すること	蔵書充実・資料収集	28	学術書などの充実
	資料管理・書架管理	24	汚破損図書の確認・修理
職員に関すること	市民応対	41	窓口や電話での応対の改善
その他	利用者マナー	11	マナーが悪い利用者への対応の改善
	その他	18	コピー料金の値下げ
合 計		434	

## ウ シングルサインオン\*開始

平成 21 年 7 月に図書館情報システムを改修し、図書館ホームページ内の蔵書検索において一度のログインで予約や貸出延長の確認をできるようにしました。

\*ユーザーが一度ログインするだけで、許可されているすべての機能が利用できるようにする仕組み。

## (2) 市民の調査研究を支援するとともに、図書館からの情報発信に努めます

### ア 図書館ホームページの充実

#### 郷土資料の検索手段を充実させました。

平成 22 年 3 月に「横浜の郷土資料を探す」「横浜の郷土雑誌記事を探す」を開設しました。横浜に関する情報を効率的に検索する手段を整え、キーワード検索も可能な郷土の調べ物に便利なツールとして作成しました。

「横浜の郷土資料を探す」では、『横浜市史』や、約 100 冊の各区誌史を始めとする横浜を知るための基本的な図書から目次等の詳細な情報を収録しました。「横浜の郷土雑誌記事を探す」は基本的な雑誌の目次を収録、さらに出版者へのリンクを設定しました。



横浜の郷土雑誌記事を探す

#### キッズページのコンテンツの充実に努めました。

横浜開港 150 周年を契機に、子どもが郷土である横浜に興味を持ち、自ら調べる力をつけるためのツールとして小学生向けパスファインダー\*「横浜探偵団」を第 4 弾まで発行し、キッズページに掲載しました。学校等で横浜について調べるときによく聞かれるテーマを選び、調べ方も分かるように紹介しています。印刷して学校等で配布できるよう、PDF 版も掲載しています。



横浜探偵団(キッズページ)

また、子どもが本を選ぶときの参考になるように、子どもが興味を持ちそうなテーマや日常によく聞かれるテーマの本を集め、テーマ別の本のリストを掲載しました。子どもの年齢にあった本を探しやすいように、グレードを分けて紹介しています。

\*ある特定のトピックに関する資料や情報を収集する手順を簡便にまとめたもの。

#### ■よこはまについての本をさがす「横浜探偵団」

第 1 弾	～鉄道のはじまり～
第 2 弾	～横浜の歴史～
第 3 弾	～横浜の新田～
第 4 弾	～横浜まちたんけん～

#### ■テーマでさがす

こわい本
おいしいものの本
はじめてのものがたり
犯人をさがせ！

#### 【図書館ホームページ アクセス件数】

(件)

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
図書館ホームページ	3, 428, 155	5, 033, 996	5, 983, 939	6, 387, 885	8, 152, 936
図書館蔵書検索ページ(検索回数)	3, 910, 981	5, 882, 168	6, 734, 980	7, 865, 861	8, 800, 644

## イ 広報活動

図書館情報紙「@Lib」を毎月発行し、図書館情報の発信に努めました。また、記者発表などを通じ、積極的な情報提供に努めました。

記者発表件数は 43 件、新聞・ミニコミ誌・ラジオ等のメディアで報道された件数は 200 件（企画運営課掌握分）でした。

## ウ 企画事業の実施（詳細は、「10 利用状況(9) 企画事業、その他の事業」P44 参照）

### (ア) 横浜開港 150 周年記念事業の実施

横浜開港と地域の歴史に根ざしたイベントを開催しました。

「港の 150 年、この地の 150 年」（4 月 1 日～6 月 30 日）と題し、各館で横浜開港 150 周年記念事業を実施しました。中央図書館では、開港から 150 年間の出来事・事件を振り返る「ヨコハマ DEKIGOTO 展」、港北・緑・山内・都筑図書館では、北部 4 区（港北・緑・青葉・都筑）の横浜市編入 70 年の歴史をたどる「4 区のチェンジ！大変貌展」などを実施しました。チラシには「市立図書館オリジナルブックカバー」の引換券を付け、未利用者を視野に入れた広報活動を行い、期間中 2,395 枚の引き換えがありました。



「ヨコハマ DEKIGOTO 展」(中央図書館)



小学生から「みんなによんでもらいたい本」を募集しました。

夏休み（7 月 18 日～8 月 31 日）には小学生から「みんなによんでもらいたい本」を募集、2,620 通の応募がありました。その結果は読書週間中（10 月 27 日～11 月 9 日）に「ヨコハマの子どもが選んだ 150 冊」として発表、全館で図書展示及び子どもたちの紹介文を掲載した冊子の配布を行いました。

### (イ) 統一キャンペーンの実施

夏休み及び秋の読書週間に全館で時期を合わせて行事を企画・実施するとともに統一的な広報に取り組みました。

未利用者を視野においた PR をするための統一キャンペーンも 2 年目となりました。夏休みは、子どもたちを対象に「としょかんで、夏休み！わくわくイベント 2009」（7 月 18 日～8 月 31 日）を、秋の読書週間には「本を手に秋を歩こう」（10 月 27 日～11 月 9 日）と冠し、読書フェスティバル（中央図書館：11 月 8、9 日）や郷土・地域に関する資料展などを実施しました。

### (ウ) その他の事業

図書館マスコットがぞくぞく誕生しました。



開館記念周年事業や図書館資料を活用した事業などを行いました。

鶴見図書館（開館 30 周年）、中図書館（開館 20 周年）で記念事業を実施しました。

また、「生誕 100 年を迎えた作家たち」展（中央図書館）、冬季オリンピック（バンクーバー開催）に合わせ、横浜市の姉妹都市バンクーバーの紹介を行った「交換図書で知る友好都市・バンクーバー展」（中央図書館）など図書館ならではの企画の実施に努めました。



開港 150 周年・中図書館開館 20 周年記念講演会  
「開国・横浜の開港と本牧」(中図書館)



「ヨコハマ・想い出の正月」展(中央図書館)

事業の実施にあたり、区役所や地域団体との連携をすすめました。

図書館は地域の一員として、区役所や地域の機関・団体と連携をすすめています。また、地域のイベントや講座に対し、資料提供や講師派遣を行っています。



磯子区役所「健康づくりフェスタ」に協賛。図書館に1週間前から健康情報コーナーを設け、PRの役割も果たしました。(磯子図書館)



西区区民まつりで「にし・く・いず」実施(中央図書館)



つるみ子育て個育ちフォーラムへブース出展(鶴見図書館)

## エ 市民の調査研究への支援

レファレンス\*サービスの充実に努めました。(Eメールレファレンス・「調査のミカタ」シリーズ)

図書館では、カウンターや電話、Eメールで毎日多くの方から問い合わせや相談を受け、必要な図書や情報を探し出すお手伝いをしています。

図書館に寄せられた質問の中から、ほかの方が調べる際にも参考となりそうな事例を「レファレンス事例集」として図書館ホームページに掲載しています。また、平成 21 年 11 月から、国立国会図書館「レファレンス協同データベース」(国立国会図書館が全国の公共図書館等と協同で構築しているデータベース)に提供した事例を、新たに「レファレンス事例集」から検索できるようにしました。平成 21 年は事例提供数が 950 点、アクセス数が 12,965 件に及び、国立国会図書館から「御礼状」をいただきました。

平成 18 年度から、中央図書館の司書が日々の業務の中で蓄積した、特定テーマに関する調べものに役立つ資料や調べ方の手順を「調査のミカタ」シリーズとして紹介しています。あわせて、平成 21 年 11 月からホームページ上に「調査のミカタ」を新設し、コンテンツを充実させるなど、課題解決のための情報提供に努めています。

\*利用者の調べものや資料の相談などに対し、必要とする図書館資料の紹介や提供、情報入手の手助けを行うこと。

「調査のミカタ」シリーズ (平成 21 年度発行/改訂分)

■パスファインダー (調べ方のヒント)

系図を調べる
病気を調べる
新型インフルエンザを調べる
天文現象(日食)を調べる
教科書をさがす
J I S 規格を探す
幕末・明治の新聞記事を探す
パパママのための中央図書館入門

■テーマリスト (テーマに即した資料紹介)

認知症について知る
地球温暖化を考える 2009
自殺について考える
■所蔵目録
マイクロフィルム目録
『闘病記』をご存知ですか?
教科書目録 小・中・高・特別支援
広報よこはま所蔵一覧
横浜の学校を調べる
横浜市内旧制中学・高校・専門学校 校名変遷(戦前創始編)



「御礼状」(中央図書館)

国立国会図書館からいただきました。

「図書館海援隊」に参加しました。

中央図書館では、「図書館海援隊」プロジェクト(平成 22 年 1 月～。文部科学省の呼びかけにより、課題解決支援サービスの一環として、貧困・困窮者に対する支援を実施している有志の図書館が集まったプロジェクト)に平成 22 年 2 月から参加しました。3 月には、企画展示「みんなで支える認知症 予防と理解のために」、「連続講座 暮らしを守る法律」などを関連機関と連携し行いました。このほか、レファレンスカウンターでの相談だけでなく、図書館ホームページで、「暮らしや仕事に関する困りごとの解決に役立つ関連機関へのリンク集」を掲載するなど積極的な取り組みを行っています。

文部科学省ホームページ「図書館・公民館海援隊プロジェクト」

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/kaientai/1288450.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/kaientai/1288450.htm)



中央図書館4階 医療情報コーナー

平成 18 年 12 月のコーナー開設以来、医療や健康に関する最新の情報を提供しています。



中央図書館4階 法情報コーナー

平成 20 年 12 月のコーナー開設以来、生活や仕事など身近なことにまつわる法律について最新の情報を提供しています。また、法テラスなどの関連機関と連携し、相談機関等の各種パンフレットを配布しています。

**オ 行政への支援(庁内情報拠点化事業)**

引き続き、市役所各部署を対象に、日常業務や新たな事業の企画立案等のために必要な情報に関するレファレンスや、資料提供などを行いました。

平成 11 年度に開始した庁内情報拠点化事業は、図書館による行政支援サービスとして、全国的にも先駆的な事業です。市役所内部での図書館に対する認識を高め、図書館施策の充実につ

なげることなどを目的として実施しています。

市役所が行っている市民サービスを図書館が支援することは、市民に対する間接的な図書館サービスの提供であると位置づけています。

平成 21 年度の特色ある取組みとして、都市経営局政策支援センターのオープンにあたり、図書資料約 800 冊の目録を整備するとともに、図書の背に貼付するラベルを作成しました。

【庁内情報拠点化事業利用実績】

区分	業務用資料貸出 (冊)		レファレンス受付 (件)		ブックリスト作成 (件)	
	対象区局数	利用実績	対象区局数	利用実績	対象区局数	利用実績
平成15年度	38	1,242	38	287	2	2
16	38	1,299	38	255	2	2
17	41	1,322	43	268	1	1
18	34	842	29	230	1	2
19	37	1,525	36	280	1	1
20	37	1,308	31	403	1	1
21	36	1,534	35	304	1	2

※平成 18 年度に主管課を企画運営課から調査資料課へ移管。受付・統計方法に変更あり。

【ブックリスト作成実績】

リスト名	提供年度	提供対象局
児童虐待関連文献リスト、児童虐待を考える 100 冊	平成 9 年度	衛生局・福祉局
自治の風景	平成 10～12 年度	総務局
地球温暖化を考える	平成 10 年度	環境保全局
初めて出会う絵本のリスト わくわく見つけた！	平成 14 年度	衛生局
先輩係長が選んだ「新任係長に薦めるこの 1 冊」	平成 14～19、21 年度	行政運営調整局
横浜市会議員ブックガイド	平成 11、15 年度	市会事務局
ヨコハマは G30～環境問題に関する映像等資料	平成 16 年度	資源循環局
新採用職員向けミニブックリスト	平成 18 年度	行政運営調整局
新聞記事クリッピングのノウハウ・入門編	平成 18～21 年度	行政運営調整局
メンターになったら読む本・入門編	平成 20 年度	行政運営調整局

※局名は提供年度当時の名称

(3) 「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の推進に努めます

ア 子どもの読書活動推進 (詳細は、「10 利用状況(9)企画事業、その他の事業」P44 参照)

「横浜市立図書館年齢別読書プログラム」を策定しました。

平成 20 年度に策定した「横浜市立図書館児童サービスの基本的考え方」及び「横浜市立図書館児童サービス 2 か年計画」を受け、横浜市の全ての子どもの読書活動を段階的・効果的に推進するために、「横浜市立図書館年齢別読書プログラム」を策定しました。本プログラムで規定する読書プログラムは、市立図書館児童サービスの基本的プログラムとして、各館で

実施できるよう「2か年計画」及びその後継計画で順次整備、実施します。

子ども読書の日（4月23日）を中心とした子どもの読書活動啓発のための取組

3年目を迎えた“読書スタンプマラソン”や図書館ホームページ「今月のおすすめ本」で紹介している図書の展示を全館で実施したほか、中央図書館では第20回読書感想画コンクールの横浜地区入賞作品（小中学生）の展示会を行いました。

そのほかにも特別おはなし会や子どもの本の相談を気軽にお受けする「えほんコンシェルジュ」（都筑図書館）など、各図書館でさまざまな取組みを行いました。

**イ ボランティアへの支援**

学校及び地域で活動するボランティア養成講座を実施しました。

小学校における読み聞かせボランティアの参加が進み、その養成・研修についての要望が図書館へ寄せられています。平成21年度は全館的に取り組む、絵本の読み聞かせとストーリーテリングの連続講座「おはなしボランティア講座」を6館（中央・神奈川・磯子・山内・栄・泉）で実施しました。この講座は、外部講師による講義に加えて、司書が実習指導や関連資料紹介を行い、好評を得ています。この講座のほかに、地域図書館が独自に行う講座を7館で開催しました。

図書館で活動するボランティア向け養成講座を開催しました。

5館（中央・南・保土ヶ谷・旭・緑）で、おはなし会や修理を行うボランティアを募集し、養成講座を開催しました。

**ウ 学校への支援(学校連携事業)**

「横浜市立図書館学校連携事業 学校支援計画」を策定しました。

平成20年度に策定した「横浜市立図書館児童サービスの基本的考え方」及び横浜市立図書館児童サービス2か年計画」を受け、子どもに身近な読書環境の整備と学校教育への協力を目的に「横浜市立図書館学校連携事業 学校連携計画」をまとめました。学校連携事業のすべての活動を、学校図書館の充実につなげるという意識に基づき、平成27年までの事業を規定しました。

平成21年度は、平成20年度に引き続き、教職員向け貸出や研修会への司書の講師派遣などの実績が増えました。

【平成21年度実績】

( )内は平成20年度実績

実施内容	延実施回数	延利用人数又は冊数
図書館見学	183回 (215回)	6,930人 (6,992人)
図書館来館（おはなし会・ブックトーク等）	22回 (22回)	776人 (1,111人)
学校訪問（おはなし会・ブックトーク等）	127回 (149回)	7,361人 (8,980人)
職業体験学習・職業インタビュー	163回 (166回)	538人 (597人)
調べ学習	40回 (36回)	893人 (784人)
その他（講習・レファレンス等）	299回 (160回)	3,140人 (2,198人)
教職員向け貸出	719回 (673回)	17,133冊 (15,182冊)

#### (4) その他のトピックス

##### ア 広告事業

広告料収入等を積極的に活用し、経費節減に努めました。

平成 21 年度の図書館ホームページのバナー広告は、広告料を値下げした効果もあり、過去 5 年間で最も多い広告料収入（約 200 万円）となりました。また、大学案内パンフレットラックは、設置図書館が 1 館増え、14 館になりました。

中央図書館では、1 階カウンターでの書庫資料の請求待ち札番号及び地下 1 階音楽映像ライブラリー視聴席の順番待ち番号の案内を表示する、広告映像付きの電子番号案内表示板を平成 21 年 4 月 1 日から設置しました。図書館が独自にリースした場合に比べて、年間 150 万円以上の節減効果があります。

横浜市立図書館では、引き続き広告事業等により自主財源の確保に努めるとともに、管理運営経費の節減に積極的に取り組んでまいります。



電子番号案内表示板  
(中央図書館1階カウンター)

##### イ 移動図書館

移動図書館事業において市民協働を開始しました。

平成 21 年 4 月から、金沢区大川の「八景西」駐車場で、市民協働による移動図書館事業を開始しました。地域の市民ボランティアが、会場の設営や図書の返却、子どもたちへの絵本の読み聞かせなどの活動を行っています。



「八景西」駐車場

移動図書館車を譲渡しました。

平成 18 年度から使用しなくなった移動図書館車（はまかぜ 2 号）を、平成 21 年 10 月に山形県高島町に譲渡しました。高島町では、移動図書館車の愛称を友好の記念に「はまかぜ」とし、町内の学校や公民館に巡回させています。



感謝状贈呈式  
(中央図書館子どもの本のコーナー)

##### ウ その他

幼稚園協会より児童書の寄贈を受けました。

平成 21 年 5 月、社団法人横浜市幼稚園協会から、横浜開港 150 周年を記念して、横浜市立図書館 18 館に児童書を寄贈したいとお申し出を受けました。幼稚園の先生方が推薦する児童書リストの中から、各図書館が希望するものを選び、150 冊ずつ合計 449 タイトル、2,700 冊の児童書を寄贈していただきました。

9 月には、寄贈された児童書の展示を全館で行いました。また、中央図書館での展示初日には、幼稚園協会の方にお越しいただき、感謝状の贈呈を行いました。